



各学年の重点目標		
1・2 年	3・4 年	5・6 年
<p>①身近な自然に親しみ、動植物に優しい心で接し、自他の生命や存在を大切にする子どもを育てる。</p> <p>②よいと思うことを進んで行い、やらなければならないことをしっかり行う子どもを育てる。</p> <p>③身近にいる人に温かい心で接し、友達と仲よくして、周りの人に感謝する子どもを育てる。</p> <p>④約束やきまりを守り、自分の役割をきちんと果たす子どもを育てる。</p>	<p>①自然のすばらしさや生命の尊さを感じ取り、自他の生命や存在を大切にする子どもを育てる。</p> <p>②正しいと判断したことは勇気をもって行い、自分でやろうと決めたことは粘り強くやり遂げる子どもを育てる。</p> <p>③相手のことを思いやり、友達と助けあい、周りの人々に感謝の気持ちを持って接する子どもを育てる。</p> <p>④約束やきまりを守り、進んで働き、みんなで協力し合う子どもを育てる。</p>	<p>①生命がかげがえのないものであることを知り、自他の生命や存在を尊重する子どもを育てる。</p> <p>②自分について考え、悪いところは改め、よい所を伸ばそうと努力する子どもを育てる。</p> <p>③だれに対しても思いやりの心を持ち、相手の立場に立って親切にする子どもを育てる。</p> <p>④自分の役割を自覚し、協力して主体的に責任を果たし、みんなのために進んで役に立つことをする子どもを育てる。</p>

道徳の時間

自己を見つめ、道徳的価値を内面的に自覚させることに重点を置き、教育活動の全領域との関連を図りながら、これを補充・進化・統合し、道徳の実践力を育てる。

「特別の教科 道徳」を意識した授業
「生きる力」の効果的な活用

各教科	外国語活動・英語	総合的な学習の時間	特別活動	その他の教育活動
<p>○各教科の目標にしたがって指導しながら、道徳性を意識し、道徳年間計画と有機的に関連を持たせながら指導する。</p>	<p>○外国語でコミュニケーション活動を行う中で、仲間との関わりを大切に、共に学び合う態度を養う。</p>	<p>○体験的な活動を通して自分自身を見つめ、互いに認め合い、高め合う姿勢を養う。また地域の自然や人・文化に触れる中で、様々な価値に気付く。</p>	<p>【学校行事】</p> <p>○集団の一員としての自覚と集団の律の中で自主的・実践的態度を育成する。</p> <p>【学級活動・児童会・クラブ活動】</p> <p>○個性の伸長の中に、自主性、社会性の育成と自発的活動を促す。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生活目標 ・全校朝会の講話 ・朝の会、帰りの会の充実 ・環境整備 ・縦割り活動 ・生き物の飼育・植物の栽培 ・日記指導 等 <p>○基本的な生活の習慣化と道徳生を具体的に学ばせ、実践的態度化を図る。</p>

地域・保護者との連携